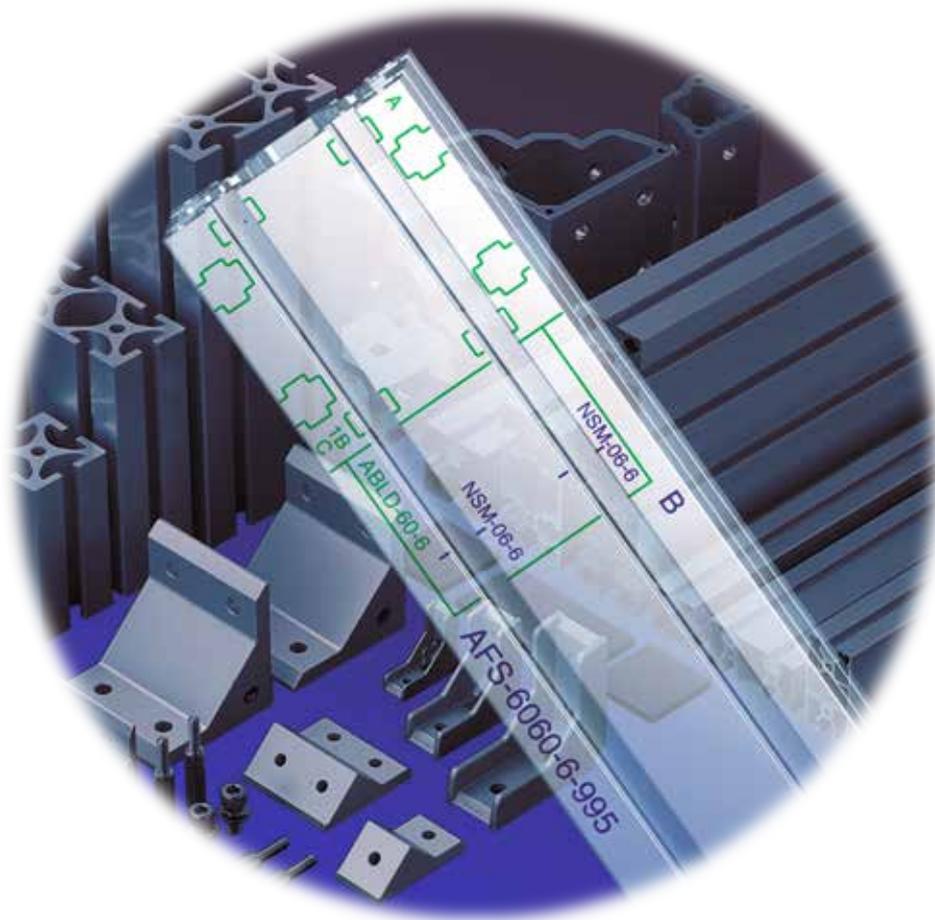


第45期定時株主総会 参考資料



2016年6月25日



エヌアイシ・オートテック株式会社

代表取締役会長CEO 西川 浩司

1. 連結経営指標等の推移

回次		第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
決算年月		2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月
売上高	(千円)					6,176,962
経常利益	(千円)					565,737
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)					363,630
包括利益	(千円)					284,980
純資産額	(千円)					3,663,026
総資産額	(千円)					5,690,837
1株当たり純資産額	(円)					672.26
1株当たり当期純利益	(円)					66.73
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)					
自己資本比率	(%)					64.4
自己資本利益率	(%)					10.2
株価収益率	(倍)					10.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)					240,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)					141,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)					108,282
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)					252,781
従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕	(名)	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	180〔30〕

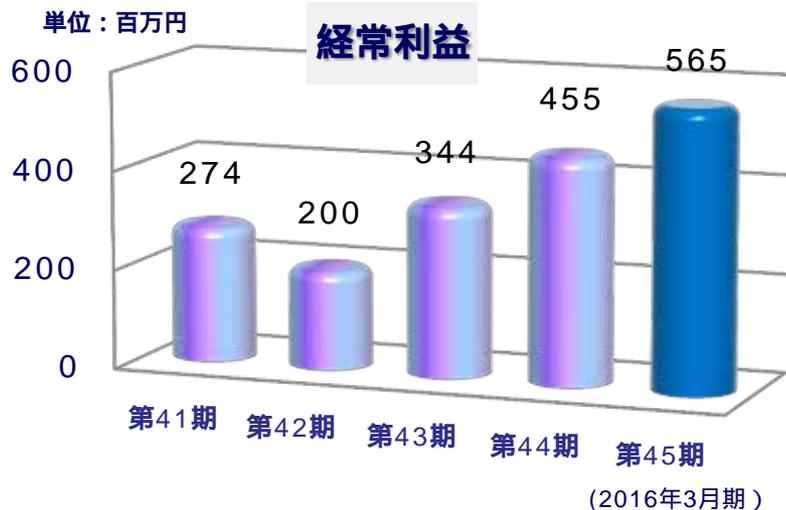
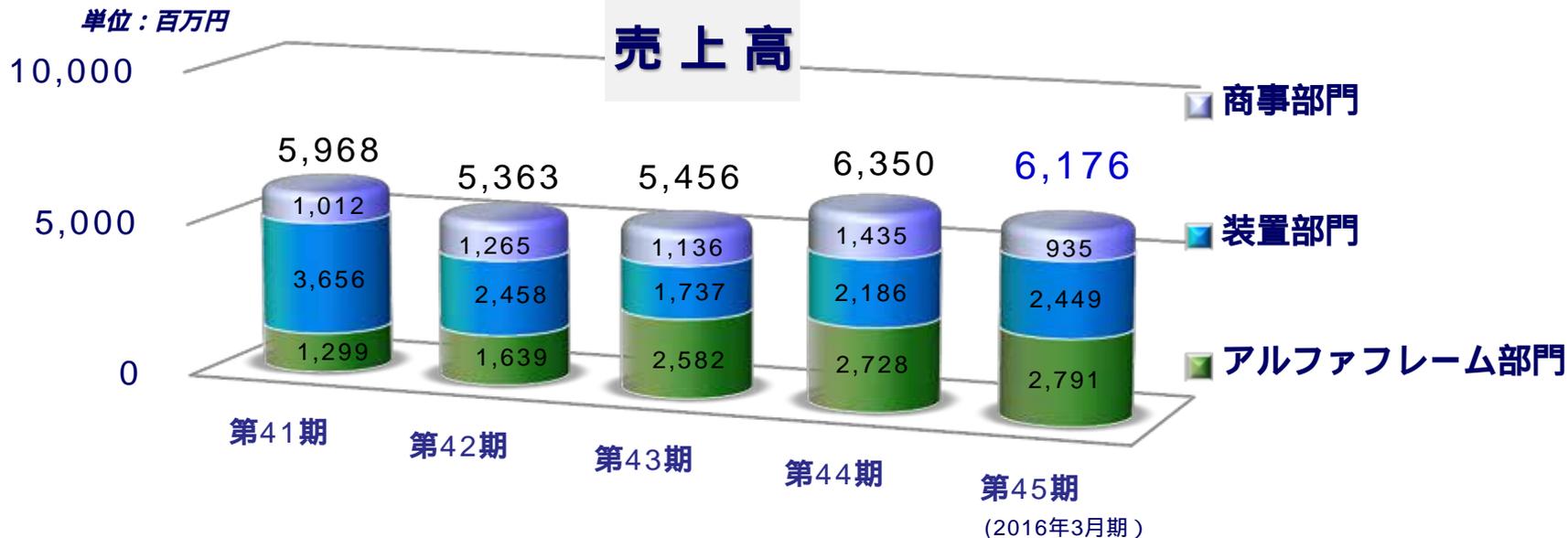
- (注) 1. 第45期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

2. 当社経営指標等の推移

回次		第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
決算年月		2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月
売上高	(千円)	5,968,462	5,363,510	5,456,494	6,350,253	6,194,894
経常利益	(千円)	274,775	200,352	344,766	455,693	605,741
当期純利益	(千円)	152,861	120,566	205,628	296,406	363,879
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)					
資本金	(千円)	156,100	156,100	156,100	156,100	156,100
発行済株式総数	(株)	55,000	55,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000
純資産額	(千円)	3,002,912	3,041,855	3,268,205	3,487,529	3,666,953
総資産額	(千円)	4,976,456	5,242,130	5,271,187	5,431,162	5,691,867
1株当たり純資産額	(円)	551.10	558.25	599.79	640.05	672.98
1株当たり配当額(内、1株当たり中間配当額)	(円)	1,200()	900()	14()	20()	23()
1株当たり当期純利益	(円)	28.05	22.12	37.73	54.39	66.78
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)					
自己資本比率	(%)	60.3	58.0	62.0	64.2	64.4
自己資本利益率	(%)	5.2	4.0	6.5	8.8	10.2
株価収益率	(倍)	12.0	12.5	8.3	11.3	10.2
配当性向	(%)	42.8	40.7	37.1	36.8	34.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	875,657	253,458	27,574	172,486	
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	57,805	67,867	223,565	262,148	
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	43,419	65,078	48,669	76,333	
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	1,059,305	672,900	428,239	262,243	
従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕	(名)	141〔17〕	151〔14〕	158〔21〕	161〔20〕	175〔30〕

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社が存在しないため記載しておりません。
3. 2013年4月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第41期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
4. 第41期の1株当たり配当額1,200円には、創業85周年記念配当300円を含んでおります。
5. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
6. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。
7. 第45期より連結財務諸表を作成しているため、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フロー及び現金及び現金同等物の期末残高は記載しておりません。

3. 業績推移 — 売上高・経常利益・(親会社株主に帰属する)当期純利益 —



注) 第44期までは単独、第45期より連結決算となっております。

4. 業績推移 — 純資産/総資産・1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益 —

純資産額/総資産額 (注)



1株当たり純資産額 (注)



財政状態の分析

当連結会計年度末の総資産は5,690百万円となり、負債合計は2,027百万円となりました。正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は1,823百万円であり、流動比率は202.5%であります。

なお、当連結会計年度末の純資産合計は3,663百万円となりました。自己資本比率は64.4%となっております。

1株当たり当期純利益 (注)



注) 第44期までは単独、第45期より連結決算となっております。

5. セグメント別売上高の状況

アルファフレーム部門	<p>アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、「アルファフレーム®システム」の付加価値を高めることで競合他社製品との差別化を図り、加えて提案重視の営業を継続的に展開いたしました。</p> <p>一般の材料・部品としての売上高は順調に推移し、特に第4四半期では、大口の需要が例年よりも多くありました。また、継続的に受注を確保しているFA装置等に使用される「アルファフレーム®システム」の大口案件は、第1四半期では生産計画の谷間となったことにより大きく売上高が減少したものの、第2四半期以降は順調に推移いたしました。</p> <p>この結果、当部門の売上高は2,791百万円となりました。</p>
装置部門	<p>装置部門におきましては、引き続き当社グループの技術力を活かした質の高いFA装置（FA：Factory Automation / 「自動化・省力化装置」をいう。）の提案営業活動を推進いたしました。自動車部品製造企業向けの洗浄、検査、試験等の各装置に関しましては、当社の技術力を高く評価いただいております。また、継続的な受注によりFA装置の売上割合が大きく増加いたしました。</p> <p>また、フラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）業界向けクリーンブース案件も当初予想を上回る受注を確保いたしました。</p> <p>この結果、当部門の売上高は2,449百万円となりました。</p>
商事部門	<p>商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係及び一般機械設備関係の売上高は、前期並みに推移いたしましたが、機械部品製造関連企業の大型機械設備投資は前年をピークとして峠を越えたために、大型の設備投資案件数が大幅に減少し、売上高は伸び悩む状況となりました。</p> <p>この結果、当部門の売上高は935百万円となりました。</p>

6. 連結財務諸表

連結貸借対照表 (2016年3月31日現在)

科 目	金 額(千円)
資 産 の 部	
流 動 資 産	3,601,894
固 定 資 産	2,088,943
有 形 固 定 資 産	1,467,624
無 形 固 定 資 産	19,576
投 資 そ の 他 の 資 産	601,742
資 産 合 計	5,690,837
負 債 の 部	
流 動 負 債	1,778,660
固 定 負 債	249,150
負 債 合 計	2,027,810
純 資 産 の 部	
株 主 資 本	3,623,649
資 本 金	156,100
資 本 剰 余 金	146,100
利 益 剰 余 金	3,355,916
自 己 株 式	34,467
その他の包括利益累計額	39,377
その他有価証券評価差額金	42,196
為 替 換 算 調 整 勘 定	2,818
純 資 産 合 計	3,663,026
負 債 及 び 純 資 産 合 計	5,690,837

連結損益計算書 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

科 目	金 額(千円)
売 上 高	6,176,962
売 上 原 価	4,655,145
売 上 総 利 益	1,521,817
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	958,480
営 業 利 益	563,337
営 業 外 収 益	19,977
営 業 外 費 用	17,577
経 常 利 益	565,737
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	565,737
法 人 税 等	202,450
当 期 純 利 益	363,286
非支配株主に帰属する当期純損失	344
親会社株主に帰属する当期純利益	363,630

7. 財政状態の分析〔連結貸借対照表（2016年3月31日現在）〕

流 動 資 産	当連結会計年度末における流動資産の残高は3,601百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が252百万円、受取手形及び売掛金が1,793百万円、電子記録債権が720百万円、たな卸資産が778百万円などです。
固 定 資 産	当連結会計年度末における固定資産の残高は2,088百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産が1,467百万円、投資その他の資産が601百万円などです。
流 動 負 債	当連結会計年度末における流動負債の残高は1,778百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が863百万円、電子記録債務が577百万円、未払法人税等が136百万円などです。
固 定 負 債	当連結会計年度末における固定負債の残高は249百万円となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債が172百万円、リース債務が74百万円などです。
純 資 産	当連結会計年度末における純資産は3,663百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金が3,355百万円などです。

8. 経営成績の分析〔連結損益計算書（2015年4月1日から2016年3月31日まで）〕

<p>売上高</p>	<p>当連結会計年度は、アルファフレーム部門においては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、「アルファフレーム®システム」の付加価値を高めることで競合他社製品との差別化を図り、加えて提案重視の営業を継続的に展開いたしました。</p> <p>一般の材料・部品としての売上高は順調に推移し、特に第4四半期では、大口の需要が例年よりも多くありました。また、継続的に受注を確保しているFA装置等に使用される「アルファフレーム®システム」の大口案件は、第1四半期では生産計画の谷間となったことにより大きく売上高が減少したものの、第2四半期以降は順調に推移いたしました。</p> <p>装置部門においては、引き続き当社グループの技術力を活かした質の高いFA装置の提案営業活動を推進いたしました。自動車部品製造企業向けの洗浄、検査、試験等の各装置に関しましては、当社の技術力を高く評価いただいております。継続的な受注によりFA装置の売上割合が大きく増加いたしました。また、FPD業界向けクリーンブース案件も当初予想を上回る受注を確保いたしました。</p> <p>これらの結果、売上高は6,176百万円となりました。</p>
<p>売上総利益</p>	<p>当連結会計年度は、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、効率的な生産体制を継続できたこと、また装置製作の大口案件確保による設計・製作効率の向上により、売上総利益は1,521百万円となりました。</p>
<p>販売費及び一般管理費</p>	<p>販売費及び一般管理費につきましては、継続的かつ効果的な人的投資及び販促・広告活動を推進した結果、958百万円となりました。</p>
<p>営業利益 経常利益 親会社株主に帰属する当期純利益</p>	<p>当連結会計年度は、売上総利益の確保により、営業利益が563百万円、経常利益が565百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が363百万円となりました。</p>

9. 会社概要

社 名 エヌアイシ・オートテック株式会社

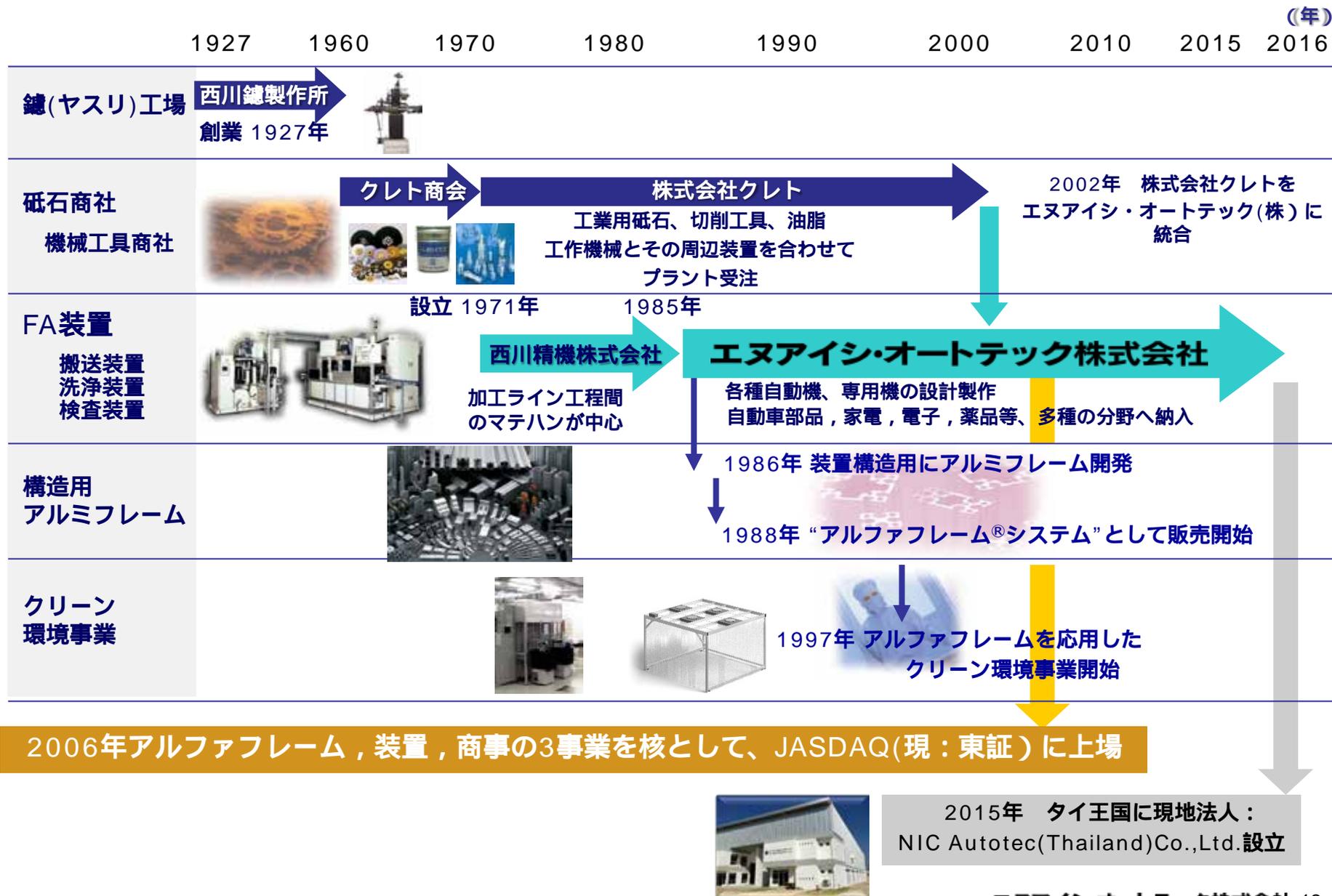
国産初のアルミ構造材(商標名：ALFA FRAME SYSTEM【アルファフレーム®システム】)を自社開発し、アルファフレームを使用したクリーン機器やF A・省力化装置等の設計・製作・開発を行っております。

1927年の工業用鍵(ヤスリ)工場から出発し、2006年6月にジャスダック証券取引所(現：東京証券取引所)に上場、本年で創業89周年を迎えます。

創 業	1927年4月(昭和2年)
設 立	1971年5月17日
代 表 者	代表取締役会長CEO 西川 浩司
本社所在地	富山県富山市清水元町7番8号
東京本社	東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
資 本 金	156,100千円(2016年3月31日現在)
従 業 員 数	180名(連結：2016年3月31日現在)
平均年齢	39.9歳(単独：2016年3月31日現在)



10. 沿 革



11. 3つの事業部門

アルミ製構造部材から高度な自動化装置、
さらにはクリーンルームの製造・販売までの一貫体制



アルファフレーム部門

経験豊富なCAD設計陣による
技術設計支援・サービス
豊富な製品群“1500以上”による
多彩なシステムの提供



装置部門

特定の業界に依存しない
業務体系
先端技術力を持つ企業から
積極的受注体制



商事部門

「メーカー機能」を活用した設備の
導入提案営業
工業用砥石を中心とした
工業生産財の提供



↳ **アルファフレーム + 装置 + 商事**

高付加価値技術



12. 国内事業拠点

富山本社(登記上本社)
〒930-0034
富山県
富山市清水元町7-8
☎ 076-425-0738



立山工場
〒930-0272
富山県
中新川郡
立山町塚越398-176
☎ 076-463-5578



流杉工場
〒939-8032
富山県
富山市流杉255
☎ 076-422-2578



アルファフレーム九州
〒837-0907
福岡県
大牟田市四箇新町1-2
☎ 0944-41-7707



アルファフレーム関西
〒578-0965
大阪府
東大阪市本庄西2-4-29
☎ 06-6747-2212



愛知事業所
〒458-0801
愛知県
名古屋市緑区鳴海町母呂後185
☎ 052-629-5067



東京本社(登記上東京支店)
〒135-0063
東京都
江東区有明3-7-26
有明フロンティアビルB棟11階
☎ 03-5530-8060



13. トピックス(1)

当社は、2006年6月に株式を上場後、立山工場敷地内において開発センター「I棟」及び生産棟「C棟」の二棟を新設してまいりました。安倍政権発足後、企業の投資及び雇用促進に関する政府による既存施策等々に加え、2016年度より新たに実施される政府の政策を鑑み、2016年度は絶好の設備投資の機であると捉え、業容拡大に向けて「倍増計画元年」と位置付け、2020年度までの5年間に上場以来初の大型設備投資を計画いたしております。

海外子会社への増資を決定 第1弾

2016年6月1日開催の取締役会において、更なる事業拡大に向けての機械設備拡充及び資本の充実と財務基盤強化を図ることを目的に、連結子会社であるNIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.の株主総会決議を経たうえで、同社への増資を実施することを決議いたしました。

- (1) 発行新株式数 : 60,000株
- (2) 発行価額 : 1株につき1,000タイパーツ
- (3) 増資額 : 60,000,000タイパーツ
(2016年3月31日現在の為替相場による円換算額: 191百万円)
- (4) 払込日 : 2016年8月初旬予定
- (5) 割当先 : 当社
- (6) 増資後の発行済株式の総数 : 70,000株
- (7) 増資後の資本金の額 : 70,000,000タイパーツ
(増資前資本金円換算額37百万円と今回増資円換算額191百万円の合計額: 228百万円)
- (8) 増資後の当社出資比率 : 99.86%



NIC Autotec(Thailand)Co., Ltd.

立山第二工場(仮称)の建設を決定 第2弾

2016年6月16日開催の取締役会において、更なる事業拡大に向けて生産体制の強化を図るため、装置品製作のための工場用地を取得、新工場を新設することを決議いたしました。2016年度内稼働により開発・生産効率を大幅に高めることを計画しております。

- (1) 所在地 : 富山県中新川郡立山町
- (2) 予定投資額 : 8.5億円(土地、建物及び建物付属設備、機械設備等)
- (3) 敷地面積 : 約6,400㎡
- (4) 延床面積 : 約2,800㎡
- (5) 構造 : 鉄骨造2階建
- (6) 稼働開始予定年月 : 2016年12月(予定)

14. トピックス(2)

新たな取り組み

人型ロボットを活用したシステムインテグレーション



今後、人共存型の双腕ロボットの需要が、益々高まっていくことが見込まれております。人とロボットが一緒に働く近未来的な生産現場（次世代工場）の環境づくりとして、制御プログラムの構築やロボットの作業環境として必要な周辺機器・治具、及びこれらの目的に沿った新しいFA装置や「アルファフレーム®システム」を活用したユニット化の開発をめざしております。

Thank You!

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料に対するお問合せは、以下へお願い申し上げます。

<エヌアイシ・オートテック株式会社 管理部管理グループ>

TEL : 076-425-0738

FAX : 076-422-2712

Mail: ir@nic-inc.co.jp

URL : <http://www.nic-inc.co.jp/>



エヌアイシ・オートテック株式会社



東京本社	/	〒135-0063	東京都江東区有明3-7-26	有明フロンティアビルB棟11F	TEL : 03-5530-8060
富山本社	/	〒930-0034	富山県富山市清水元町7-8		TEL : 076-425-0738
立山工場	/	〒930-0272	富山県中新川郡立山町塚越398-176		TEL : 076-463-5578
流杉工場	/	〒939-8032	富山県富山市流杉255		TEL : 076-422-2578
愛知事業所	/	〒458-0801	愛知県名古屋市緑区鳴海町母呂後185		TEL : 052-629-5067
アルファレーム関西	/	〒578-0965	大阪府東大阪市本庄西2-4-29		TEL : 06-6747-2212
アルファレーム九州	/	〒837-0907	福岡県大牟田市四箇新町1-2		TEL : 0944-41-7707

ご注意 著作権 © 2016 NIC AUTOTEC, INC.

WARNING : All Rights Reserved . Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

本資料を権利者の許諾なく無断複製、改変、頒布、翻訳などに使用することは、著作権上、禁じられています。

産業財産権 2015 NIC AUTOTEC, INC. ALFA CLEAN BOOTH & SYSTEM, ALFA FRAME SYSTEMの主要な構成部品は特許、実用新案、意匠権など 産業財産権により保護されております。